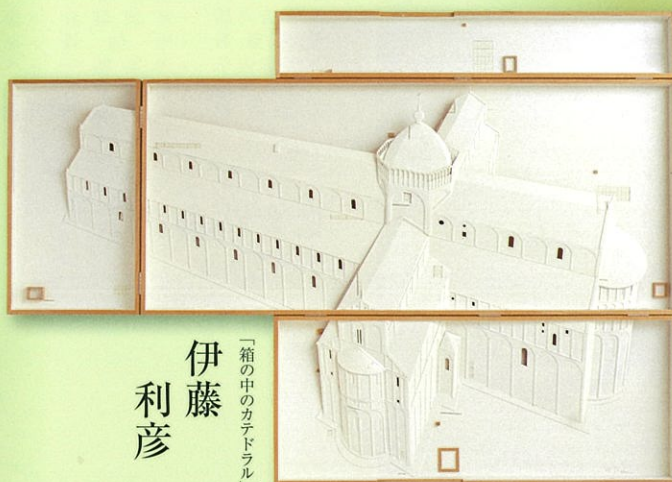


パラミタミュージアム 名作展



加藤唐九郎
〔織部角繁向附〕



伊藤利彦
〔箱の中のカタドラル〕



上沼緋佐子
〔泥釉七宝宮 吉野〕

〔泥釉七宝宮 五十鈴川〕

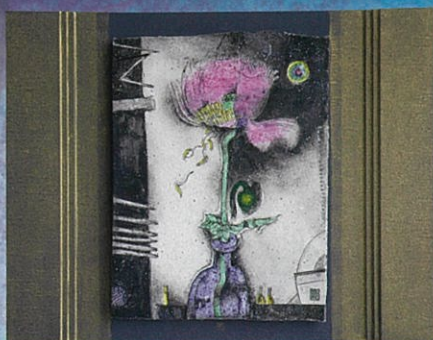
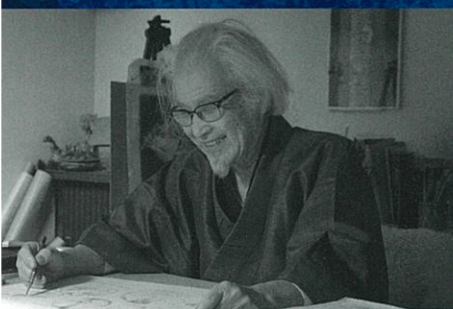


藤平伸
〔出船〕

三浦景生

作品とポートレートで偲ぶ

追悼展



陶板「罌粟文」2006年

関連イベント

講演会

2016年5月29日(日) 14:00~

みうらいさ子氏(染色家・三浦景生氏長女)

「父・三浦景生を語る」

後援：中日新聞社、伊勢新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送

2016年5月18日(水)~6月19日(日)

※会期中無休

会場：パラミタミュージアム2階

開館時間：午前9時30分~午後5時30分(最終入館は午後5時まで)

入館料：一般1,000円(4枚セット券3,000円)/大学生800円/
高校生500円/中学生以下無料

主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

作品とポートレートで偲ぶ

三浦景生追悼展

三浦景生は1916年(大正5)京都の老舗表具店に生まれました。32年(昭和7)には丸紅株式会社意匠部に入社し染色図案の作にあたりましたが、1947年(昭和22)自由な染色を志して社し、当時新進気鋭の染色家小合友之助(1898-1966)に事しました。

その後日展を中心にろう染めによる染色作品を発表し、ネルや屏風に仕立てた作品や布コラージュを用いた抽象画を試みるなど常に斬新な手法で制作を展開しました。年代にはそれまで染色のモチーフとしてはほとんど顧みられないような野菜を描き、不思議な浮遊感を漂わせる野菜たちは浦芸術を特徴づけるテーマとなりました。また'80年代には川島立九谷焼技術研修所で図案制作の指導に当たりました。それを機に陶芸作品の制作を始めました。独自の色使いと想的でどこかほのぼのとした陶芸作品は、その後染色とともに浦芸術の重要な一部となりました。

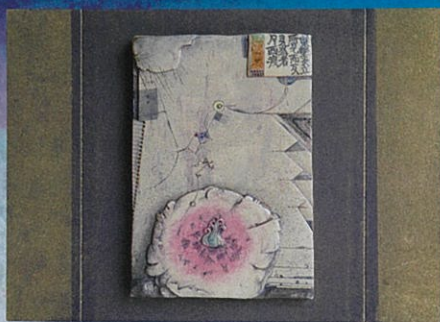
また2007年にはパラミタミュージアムで個展を開催し好評を博しました。

三浦景生は終生現役作家として活躍しましたが、2015年8月、歳の誕生日を迎えたあと間もなく永眠しました。

今回は作品とポートレートを展示し、染色家三浦景生氏を偲びます。

略歴

- 6(大正 5)年 京都の老舗表具店に生まれる
- 32(昭和 7)年 丸紅株式会社意匠部に入社、染色デザインを担当する
- 37(昭和22)年 独立、染色家小合友之助に師事
「第3回日展」初入選
- 51(昭和26)年 「京都府工芸美術展」において優賞を受賞
- 54(昭和29)年 「第6回京展」において市長賞を受賞
(57にも同賞、67京展賞、78三十回記念市長大賞を受賞)
- 59(昭和34)年 「第2回新日展」において特選・北斗賞を受賞
- 62(昭和37)年 「第1回日本現代工芸美術展」において会員賞・文部大臣賞を受賞
- 63(昭和38)年 京都市立美術大学(現京都市立芸術大学)美術学部の助教授に就任('71教授に就任)
- 80(昭和55)年 「第2回日本新工芸展」において東京都知事賞を受賞
(87同展内閣総理大臣賞を受賞)
- 83(昭和58)年 第2回京都府文化賞功労賞を受賞
- 84(昭和59)年 石川県立九谷焼技術研修所で図案を指導、色絵陶器の制作を始める
- 85(昭和60)年 京都市文化功労者の表彰を受ける
- 95(平成 7)年 第13回京都府文化賞特別功労賞を受賞
- 99(平成11)年 第49回芸術選奨文部大臣賞を受賞
- 05(平成17)年 第3回円空大賞(岐阜県)を受賞
- 07(平成19)年 「第39回日展」において内閣総理大臣賞を受賞
「三浦景生展-染陶歷程」をパラミタミュージアムにて開催
- 08(平成20)年 京都新聞大賞文化芸術賞を受賞
- 15(平成27)年 8月28日、京都の自宅にて歿



陶板「牡丹「東野・・・」」2006年

パラミタミュージアム 名作展

パラミタミュージアムでは2003年の開館以来、様々な展覧会を開催すると同時に作品の蒐集保管にも努めてきました。今では平面と立体を合わせて4200点を超える作品を所蔵しています。

今回は来館者の皆様からのご要望の多かった作品を中心に当館学芸員がお薦めする名作の数々を展示いたします。

展示作家

- ・麻生三郎
- ・伊藤利彦
- ・加藤卓彦
- ・加藤唐九郎
- ・香月泰男
- ・上沼耕佐子
- ・河井寛次郎
- ・河本五郎
- ・北大路魯山人
- ・小嶋三郎一
- ・清水卯一
- ・芹沢銈介
- ・千住博
- ・津高一
- ・富本憲吉
- ・中村晋也
- ・バーナード・リーチ
- ・浜口陽三
- ・パブロ・ピカソ
- ・藤田喬平
- ・藤平伸
- ・ヘンリー・ムーア
- ・三岸節子
- ・棟方志功

その他



棟方志功

「二曲一隻屏風／二菩薩図(改刻前)」

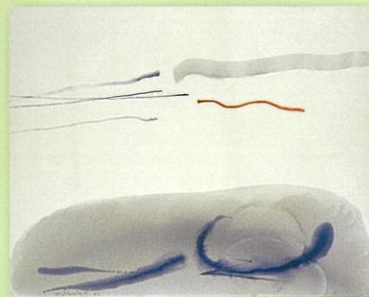
北大路魯山人

「桃之図 大鉢」



浜口陽三

「パトリックのさくらんぼ」



津高一

「軌跡」



中村晋也

「純陀-最後の供物者達」

次回展示のお知らせ

会期 平成28年6月23日(木)～7月31日(日) 第11回パラミタ陶芸大賞展

全国的美術館・画廊・評論家などの推薦により上位6名をノミネートし、展示期間中、美術館に来館して頂いた方の投票により大賞を選びます。最多得票数獲得者一名に、第11回パラミタ陶芸大賞を授与します。

●出品作家(五十音順)
今泉 毅(埼玉県日高市) / 黒田 泰蔵(静岡県伊東市) / 鈴木 徹(岐阜県多治見市) / 田中 知美(愛知県瀬戸市) / 中田 博士(石川県小松市) / 牟田 陽日(石川県能美市)

同時開催 奇々怪々 お化け浮世絵展

江戸時代の終わりごろ、百の怪談をする「百物語」が流行し、幽霊や妖怪などの恐ろしいお化けに対する人々の関心が高まるなど、空前のオカルトブームが巻き起こりました。本展では、葛飾北斎や歌川広重、豊国、国芳、月岡芳年など、各時代を代表する浮世絵師たちが描いた「お化け・妖怪」作品を展示します。

- お車をご利用の場合 / 東名阪「四日市」ICより国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。 ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
- 電車をご利用の場合 / 近鉄「四日市」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分、「大羽根園」下車、西へ300m。 ■全館バリアフリー、車椅子常備



paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

公益財団法人岡田文化財団

Tel.059-391-1088

Fax.059-391-1077

E-mail office@paramitamuseum.com

http://www.paramitamuseum.com

パラミタミュージアム

検索